



「乱れ打ちかわら版」あらため／季刊（創刊2001年）

2019年冬・59号

信条・世に媚びず・枠にとらわれず
・言いたいことはハッキリ言おう

発行／吉田 進
携帯 090-3168-1063
FAX 072-863-0605
〒110-0015
東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>
E-mail : info@kawaraban.ne.jp



人間は食が一番。バンコクの水上食堂は、生きるエネルギーの場

CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・自分のことを書いています。

われら地球人 グレタさんの叫び胸で聴け
「お金と経済成長の『おとぎ話』を語るな」…………… 2
結婚をすること 大山 桜… 3
「ジャンルの大衆食堂」と呼ばれて34年 西川 哲司… 4
「越後の三人娘は解散です」 菊田 まきこ… 5
年経る毎にこの世は棲みにくく 三枝 のんこ… 6
憲法と改憲を考えるシリーズ10
フランスでの生活と憲法の実感 久川 京子… 7
作家・東京大空襲・戦災資料センター名誉館長
早乙女勝元氏講演より「平和を探して生きる」…………… 8
「労働条件ファースト」の勧め 黒瀬 直宏… 9
台東プラザハッ場ダム見学研修旅行報告
工事中止、再開後突貫工事で完成 星野 輝夫…10

映画「新聞記者」を見て——●
真実は報道されているか 坂本 繁夫…11
恭子の日記⑩ 災害に遭った日 中田 恭子…12
小林正樹
—人間の「醜悪」と「尊厳」を映し撮った男—
市川 隼…13
愛国心を捨てよ 日本を本当に愛するなら
三田 栄考…14
人生100年、人類60万年 岡安 慶子…15
LIFE CROSSING余録……………15
編集後記……………15
「アムールの秋映画祭」と提携し日本映画を上映
増山 麗奈…16

われら地球人

グレタさんの叫び胸で聴け 「お金と経済成長の『おとぎ話』を語るな」



IT革命と少子高齢化の日本で、外国人観光客が急増。だが、韓国からの旅行者は急減した。とはいえ大阪ミナミでは連日、観光客で沸きかえる。

スポーツ界では、両親の一方が外国人や帰化した日本人の活躍がめざましい。テニスの女王・大坂なおみさんは、故郷大阪は「タコヤキ、オコノミヤキ、ウマイ」と赤ちゃん言葉で名宣伝。そしてラグビーW杯。多様化した一体強力チームに痺れますなあ。

大阪ミナミの道頓堀では、2人の「芸人」が。片や自転車で立つスパイダーマン。立看板には「開店資金に協力を」で、カネを入れると、ブザーが鳴り直立不動体から「アリガトウ」の声。片や「殴られ屋」。聞けば、彼はプロのキックボクサーで、殴る料金は一円から随意とか。「一円で殴られたら、割に合わんやろ」と言ったら、「めったに殴られん」という。剃り残した頭髪が愛敬いっぱいの眼鏡アート。これが現代のナンセンス・パフォーマンスなんかね。

さて、スウェーデンの環境運動をしているグレタさん(16)の国連での叫びが胸を打つ。一笑に付したのは、トランプ大統領と、彼を取り巻く「死の商人」たち。

ところで、世界の強国は宇宙ロケット開発に余念がない。宇宙戦争や商売のためだが、地球という住む家が病んでいるのに。

食いだおれで満腹になったら、スクラム組もう。グレタさんや香港の若者たちは、必死で戦っているのに日本の若者は、一体何を考えとんねん。

※グレタ・トゥーンベリ：環境問題を大人たちに告発しつづけるスウェーデンの活動家。16歳。地球温暖化の危険を国連で強く訴えた。「経済成長とお金のために地球を壊し続けるなら、私は許さない」と。

この人と結婚をしよう。そう決める理由とはなんなのでしようか。付き合ってから直ぐに結婚する人もいれば、長年付き合っても別れてしまう恋人達もいます。結婚してすぐに分かれる人もいれば、生涯を共にする人。はたまた、別の人に魅力を感じてしまう人。子どもが出来たから結婚する人。それぞれいると思います。が、人は何故結婚するので



しょうか。筆者は27歳の独身女性であり、直近5年間お付き合いしていた彼と別れを告げました。

日本人の晩婚化

近年の日本では晩婚化が進んでいます。50歳時点での平

均未婚率を示す生涯未婚率が、2015年の国勢調査で男性23・4%、女性14・1%と過去最高記録となったことをご存じかと思えます。が、30年前までの日本はほぼ全員が結婚する皆婚社会でした。1985年時点の国勢調査を見ると、生涯未婚率は男女とも5%にも達していません（男性3・9%、女性4・3%）。平成以降の30年

結婚をする人々

千葉県 大山 桜

間で男性は6倍、女性も約3倍に増えました。未婚率の上昇を男女年代別に見ると、男性の場合は30〜40代、女性の場合には20〜30代の未婚率が最も増えました。アラフォー男性とアラサー女性が全体の未婚率を押し上げています。これは、未婚化だけではなく、

男女ともに進んだ晩婚化の影響もあります。平均初婚年齢はこの30年間で男性2歳、女性は3歳も上昇しました。ではなぜ、晩婚化が進んだのか。直近のアンケートなどを見てみると男性の結婚しない理由に「経済的に余裕がないから」と答える人が多くなっています。女性の社会進出が増えて、男女の格差がなくなり、結婚したいと思う女性が

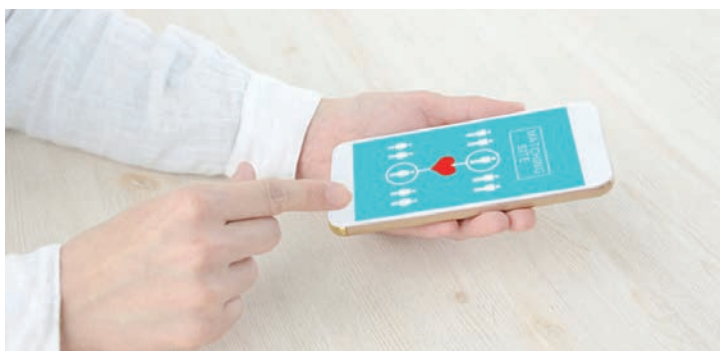
減少したことと、男性に求める水準が昔よりも高くなってしまったこともあるのではないのでしょうか。それ故に男性も、そこまで確信を持って女性を養えるという自信がある人が減り、結婚する人たちが減ったのではないかと思います。また、多様化が尊重される

ようになり、昔みたいに親が決めた人と結婚するなど、お見合いでの結婚などが減り、マッチングアプリなどで自分で選択する機会が増えたことも晩婚化の理由の一つではないのでしょうか。

結婚をする意義

ではなぜ、人は結婚をするのか。1つに人は人に認められて自分という存在を認識しているからではないでしょうか。勿論、友達などもそうかもしれませんが、恋人はそれ以上に自分という人間を認めてくれ、知ってくれて理解をしてくれる存在です。大切にされて、心が満たされ、その愛情を子どもが居たら子どもへ、注ぐことができ、その子どもがまた誰かを愛し、誰かと結婚し、世界は回っていくのではと思います。

これらのことから、私は結婚はしたくてできるものではないと思います。私も20代前半は「結婚をすること」に対して憧れや優越感を感じていました。だけど、結婚というものをも真剣に考えた20代後半に、価値観や、この人は何十



年先も自分のことを愛してくれるのかを考えて、別れを選択しました。人生にとって正解はないかと思いますが、遅いも早いもないのでしょうか。晩婚化が進み少子高齢化などの問題も増えてきていると思いますが、女性が働きやすく、自分の人生の決断をしやすくなった社会だと言えます。世の中の若者には自分を見失わず、しっかりと自分の意思で決断して後悔のない人生を送りやすい世の中であって欲しいと思います。

「ジャンルの大衆食堂」と呼ばれて34年

ニシカワバンド 西川 哲司

新潟県三条市で車の整備会社を営しながら、市議員として23年間活躍する傍ら、バンドを結成し自らボーカルを務め各地でライブを開いてきた西川氏に音楽とバンドへの想いを語ってもらいました。

谷村新司の歌に衝撃・感動

1983年頃、谷村新司さんの「昴」「いい日旅立ち」「群青」「陽はまた昇る」などの歌に出会い、大きな衝撃・感動を受け、それまでの歌好きで私の音楽観が大きく変わってしまいました。それからはどうしても1度でいいから谷村さんの歌を音楽ホールで生バンドをバックに歌ってみたいという強い思いから周りの音楽仲間を説得、にわかバンドを結成して何とかコンサートを開催するようになりました。

に「義理」「同情」など約250名の皆さんにご来場いただき、何とか無事に終了。夢はかなったわけでも2回目以降のコンサートなどはもちろん考えてはいませんでした。ところが周りの皆さんの反応は意外も意外。「またやるんだったら行ってもいいよ」などどうれしい言葉も寄せられ、それならと2回目3回目と続けるようになったのです。谷村新司さんの歌をはじめ歌謡曲、ポップス、オリジナルなどをやっていくうちに「ジャンルの大衆食堂」などと呼ばれるようになりました。多い時には来場者は60



「我が窮状」を歌う

の見出しに「沢田研二さん『我が窮状』歌う」「憲法という言葉は使わず、さりげない形ながら改正議論のある9条を守り切りたい」と歌いコンサートで人気だ」とありました。沢田さんのコ

0名を超えました。こんなバンドは少し珍しかったかも知れません。

4枚のCDシングルを発売する中でもファンが広がっていったのです。

沢田研二さんの「我が窮状」を歌う

2009年4月、新潟日報

2009年4月、新潟日報

ンサーで聴いたときも涙がこぼれました。

ニシカワバンド結成30年記念コンサートで沢田研二さんの「我が窮状」を歌いました。当日のアンケートの中には「沢田さんの9条の曲、感激しました」という声もあり、本当にうれしい限りでした。あれだけビッグなアーティスト沢田研二さんが作詞して

歌ってる歌をなぜ日本のマスコミが大きく取り上げないのだろうか、不思議でなりません。

歌で心が繋がる

私は以前、市議会議員を23年間務めました。政治的には野党、社民党系でしたが、保守系の皆さんや三条市経済界のファン・支援者も結構おいでになります。歌は隔たりを超えて心を繋ぐことがよくわかりました。

私は現在68歳。病気で手術するなどいろいろあったりもしましたが、何とか乗り越えてきました。

これからも声の続く限り歌って行きたいものです。

コンサート収益金・募金は義援金に

ニシカワバンドコンサート収益金や皆さんのあたたかい募金は日本ユニセフ協会や各地の災害義援金などとして送り続けています。ホームページにその領収証コピーなどをアップしていますので、ぜひご覧下さい。

「越後の三人娘は解散です」

新潟4区衆議院議員（無所属） 菊田 まきこ



（女性たちは）左から森ゆうこ、菊田まきこ、打越さくら、西村ちなみの諸氏

7月21日投開票の参議院選挙、全国的には盛り上がり欠いた熱気なき選挙と言われるなか、わが新潟県は「さくらVS一郎」対決に注目が集

県民性が今回も証明されたと思う。

自民党の塚田一郎候補は現職参議院議員を2期務め、「付度発言」でマイナスから

まった。結果は、野党統一候補の打越さくら氏が4万票余りの差をつけて当選を果たした。投票率は55・31%。政治権力に対して厳しい目をもつ

のスタートはあったものの、政治の世界は「無名より悪名」であり、高い知名度と「新潟生まれ、新潟育ち」をアピールしていた。野党統一

候補の打越さくら候補は、北海道出身であり、中央ではDVや子供の問題に取り組む人権派弁護士として活躍していたが、新潟県での知名度はほぼゼロで「落下傘候補」「よそ者」との批判が強かった。

今回もまた政権与党総がかりのテコ入れにより、塚田陣営には安倍総理、麻生財務大臣、菅官房長官、河野外務大臣、世耕経産大臣、小泉進次郎議員など大物応援弁士が連日のように来県した。安倍総理に至っては、「国会議員になるために新潟に来て、落選すれば東京に帰る。新潟県民を利用してやっている候補だ」などと口汚く罵っていた。これが一国の総理大臣が語る言葉なのかと怒りを通りこして呆れてしまった。それほどまでに、付度議員を守ることに必死だったのだろう。今回の参院選で、目の上のたんこぶのような新潟県の野党勢力を終わらせるといふ気迫は凄まじかった。

素人候補の無謀な挑戦だったが：

私たちの陣営は中央から誰

か大物を呼ぶのではなく、地元議員が並んで街頭に立ち、清新で可愛らしい打越候補を支えるという戦術に徹することにした。最初の頃、打越候補の街頭演説はひどかった。迫力がなく聴衆の心に響かない。笑顔も握手もぎこちない。しまいには「服装がださい、髪型を変えろ、化粧がへん」とダメ出しが続いた。選挙は初めての経験なのだから、仕方がないのだが、服装や髪型までとやかく言われるのも女性候補の悲しい宿命だ。候補本人も戸惑い、どうしたらいいかわからない、と不安を口にして途中で言葉に詰まり泣き出してしまうこともあった。これはやばい。果たして最後までもつだろうか。正直、私も不安を感じた。

超素人候補の無謀な挑戦。いったいどうしたらいいのか。どうやったら勝たせてあげられるか。毎日毎日必死に考え、意見を出し合った。気がつくのと、いつの間にか周りのみんなも必死になって考えていた。やがて、全県各地域で自主的にスタンディングする応援団が増えていった。これまででない危機感と一体感

が広がっていった。もしかしたら、候補者というのは何もかも完璧な人よりも、ちよつとくらい不足しているほうが、支える側に知恵や親心が生まれて、良いのかもしれない。

そして、「越後の三人娘」に火が点いた。長女の森ゆうこ参議院議員、次女の西村ちなみ代議士、三女の私、菊田まきこ（年齢順です）。未だに、女性議員が国会において1割程度しかいない男尊女卑の政治の世界で、新潟県は3人も女性の国会議員がいると驚かれ、恐れられているのだ。これを売りにしない手はない。相手陣営に大物政治家が応援に入れば入るほど、こちらはチャンスとばかりに、地元色を前面に出し、3人娘が力を合わせて戦っているイメージに徹した。

聴衆に変化が起こった

「みなさん、こんにちは！ 私たち、越後の三人娘です」と演説しはじめると、聴衆からドツと笑い声が聞こえる。「なにが娘じゃ〜?!もう若くね〜だろ〜」という冷や

年経る毎に この世は棲みにくく

三枝 のんこ

かしのヤジが飛んでくる。この反応、この食いつき、待っていました！これは絶対にウケる！毎日毎日、朝から晩まで、自分の選挙みたいに声を囁らして全県を回った。左耳の調子が悪くなり鼓膜に穴が開いたが、弱音を吐いている場合ではなかった。ここま

はもう分かったから、さくらはどこだ？候補と握手したい」という反応が出てきたのだ。三人娘はもう飽きられたのか？さくら人気に、ちよつと寂しいような、嬉しいうような複雑な心境になりながらも、きつと勝てる自信が芽生えた。また、最終盤には、大栗田の新潟1区で自民党の石崎代議士のパワハラ問題が発覚したことも、わが陣営に

とっては追い風となり、勝利の女神は打越候補に微笑んだ。これからは「若草物語」で細い体ながらも笑顔を決やさず、愚痴も言わず、三人娘についてきた下根性の四女、打越さくら氏の胸には、今、みんなで掴んだ国会議員のバッチが輝いている。選挙前と後では別人のようにたくま

しく見える。これからは、法律の専門家、即戦力の議員として、弱い立場にある人たち、不条理に苦しむ人たちのために奮闘されることを期待したい。戦いは終わった。私は、長女の森ゆうこ参議院議員に「越後の三人娘は解散しよう」と伝えた。「えっ!？」驚く声にこう答えた。「これからはさらにバージョニアアップして『越後の若草物語』で

売っていいこう」大爆笑の音が弾けた。どんな激しいヤジが飛んできても、決して負けないう。ふるさと新潟の大地にしっかりと根を下ろし、誰ひとり取り残さない、多様性を大切にし、思いやり溢れる世の中をつくるために奮闘する四姉妹。果たして人気は出るのか、今後の活動にご注目頂きたい。(筆者は野党統一会派に参加)

娘曰く「もうガラ系は使えなくなるって。スマホの、のりかえプラン」があるし、「デビュープラン」がいいみたいだから家族割を利用して機種変更したら?」。寝耳に水。だった。電話とメールができれば十分と思っているのに。しかしガラ系の「撤退」は大問題。何とかしなきゃ。

先日、ある通信会社の請求が2ヶ月続けて1万5000円以上跳ね上がっているのを発見。その内訳を知りたくて電話すると延々と待たされたまま窓口が出てこない。しびれを切らしパソコンから入ったものの、要領を得ず、パスワードを入力せよの指示に辟易して、短気を起こしてパソコンを切った。「どうすりゃいい?」と頭を抱えていると、傍にいた孫が「テレビから調べられる」というので、半信半疑のまま彼のいう通りにリモコンを操作。「あつた

あ!これか!」こんなサイトがあるとは知らなんだ。請求額が高んだ原因は、VODで提供される有料ドラマを週末毎にうちにやってくる孫がそうとは知らず、ずっと観ていたからだ。私も気づかなかった。そういえば接続の際、通信会社の人がVODは有料だと説明したなあ。引越しのどさくさで記憶が吹っ飛びお灸をすえた。

対応する窓口がないことに驚いた。企業にとってはひっきりなしの電話をさばく効率的な方法なのかも知れないが、ローテク世代の利用者に目を転じれば、今回の経験一つをとっても、指示に従って番号を押し、やつと担当者につながっても会話を通じないことも。いい方法はないのかな。通信手段があまりにも複雑化し、理解の域を超えている。このハイテクの進行についていけない者は「自己責任」なのだろうか。技術革新から取りこぼされた層を視野に入れた丁寧な対応システムも用意してほしいものだ。

常々苦々しく思うこと。電車で横一列の乗客がみなスマホを手に独自の世界に浸る姿はいじましい。さらにハイテクに対する気おくれもあった。パソコンを使っているもの、トラブル発生でサポートセンターに電話しても理解不能。横文字に弱いとは思っ

さて一人暮らしで「メカ嫌いの同世代は、どのようこうした問題に対処しているのだろう。今回の経験で料金の内訳を尋ねようとして右往左往するうちに、人間が直接

情報格差はこうしたカタチで作られていくのだから。

情報格差はこうしたカタチで作られていくのだから。

フランスでの

生活と憲法の実感

日仏アソシエーションAsuka代表 久川 京子
(フランス・ナンテール市在住)

フランスといえばファッションと芸術、美食と言われますが、フランス革命によって培われてきた連帯と反骨の精神がもう一つの大きな柱だ



久川さんのアソシエーションが主催したナンテール市施設での福島関連イベント(2019春)。同市は市民と市政を繋ぐためにアソシエーションの支援をしている。市民が多文化を知ることを通して市民は市の代弁者でなく、自由に発言できる。

と実感しています。両者の根底に流れているのは同じもの、「自由」だと思うのです。その「自由」とは「わがままし放題」ではなく「個人

の感性」であり「自分の考えをきちんと持ち表現しつつ他人の考えは否定しない」ということだと思えます。

スイス・ジュネーブでの7

年の生活を
経てフラン
スでの生活
も今年で18
年目を迎え
ました。日
本を出て25
年の歳月が
流れていま
す。アルバ
イトをしな

がらジュネーブ大学でフランス語を学び、「極貧生活」という貴重な経験を経て、フランスで働き、結婚して定年を迎えました。

2011年の東北震災の後、日仏アソシエーションを設立し日仏の仲間とコソコソと日仏交流活動を実施してきました。フランスのアソシエーションはそれぞれの目的を達成するための合法組織(1901年法)です。会計等々、会社組織並みの管理を要求されますが、会社との違いは設立のための法的手続きがとて簡単なことです。身分証明書すら求められませんでした。そして利益を経費と寄付以外には使えないということ。運営も独立してあり、「総会」で会員に1年の活動と経理の報告をするだけの「信頼」の上に成り立っています。監査の際不正の場合は厳しく罰せられます。

フランスには130万のアソシエーションがあり、多くの人々が文化、人道、等々でいわゆる経済活動としての仕事以外の時間で活動しています。小さきままのアソシエーションは政治と民衆をつなぐ大きな役割も負っています。フランスの政治家たちは自分たちの能力を超える社会的テーマに関して専門的なアソシエーションとつながって

情報を得たり具体的解決法を探っています。そして個人的な問題もアソシエーションの仲間と助け合い、利害関係のない目的で繋がる関係です。外国人の私たちの知らないことも仲間のフランス人たちが教えてくれます。そんなアソシエーションの運営を通して政治が生活そのものであると感じることが出来ます。

個人生活の中でもたくさん驚きを感じてきました。仕事、学校教育、医療、経済ほか全てが生活にどんな影響をあたえているのかと、大学で「社会・職業へのアクセスのためのコンサルタント」の勉強をしました。しかし、日本で教育を受けた私にはどうしても「フランスの憲法」の源である「人権」ということが実感できないという壁にぶつかりました。それで大学での必須の研修では、それを学べるところをと思い、市民の政治への窓口である市役所で研修を受けました。担当の女性は若者の学生向けではない私だけのための特別なプログラムを準備してくれたのです。まずはその事自体に驚きまし

た。退職年齢に近い私に心を込めて対応してくれたことに対して。日本だったら、年配の私に「未来」などないと思うでしょう。そして市民のために作った市民サービスへのアクセスの多さにも驚きました。たとえ「権利」(ここでは当然のこと)とはいえず、「無知」と「恥」はどの国にもあるものです。それを払拭することこそが市側の一番の任務なのです。

フランスには移住者も多く、習慣の違う人たちが一緒に暮らして様々な問題が起こりますが、「憲法」の理念をもとに、私たち移民をも含めた生活を守ろうとしているという実感があります。

「権利」を行使すること自体を恥じ、それを助長することもある日本の市政の対応との違いには呆然とします。この違いは一体何なんだろうと。

久川京子さん

フランス・ナンテール市在住
日仏アソシエーションAsuka代表

https://www.asuka-association.org

早乙女氏は12歳で東京大空襲を体験。ルポルタージュ「東京大空襲」（岩波新書）がベストセラーとなり庶民の生活と愛、平和を題材に著書100冊余り、戦争を検証しつづけておられます。同友会会員の中小企業家約80名を前にしてお気に入りのベレー帽姿で反戦・平和の活動と意思を語られました。

1945年3月10日。玉砕したサイパン島などの飛行基地から出撃したB29は約300機で東京の江東、墨田、台東、荒川区などの下町地区に1700トの焼夷弾を雨霰と落としました。木造の街の大半を焼き尽くし、所々に鉄筋のビルが無残な姿を残しました。これが東京大空襲です。2時間あまりで東京は一変しました。下町は壊滅状態になり、果てしなく焼け野原が続きました。およそ100万人が家を焼け出され、犠牲になった人びとは10万人です。ずっと後になって地下鉄東西線の工事現場から発見された、焼けただれた遺骨の手にしっかりと握られていたのは位牌でした。それで身元がわ

作家・東京大空襲・戦災資料センター名誉館長

早乙女勝元氏講演より

「平和を探して生きる」を聴いて

中小企業家同友会51回定時総会17分科会にて

(編集文責・当編集部)



早乙女勝元氏

かり長い歳月の後、生き別れた家族が分かったという方もいます。当時戦災遺体は公園や神社などに穴を掘って埋めてしまいました。錦糸公園に1万4000体、猿江公園に1万3000体、上野公園8400体等々。すごいですね。亡くなった方々が掘り出されて火葬されたのは戦後3年目です。

早乙女さんは1970年に大空襲を記録する運動を始めました。当時の美濃部都知事と会うことができ、協力を得ました。この一事が日本中に伝わって、空襲、戦災を記録しようという動きが広がりました。日本中の都市が空襲を受けていたからです。そして江東区北砂に民間基金で戦災資料センターを開設し、自らこの夏まで館長として戦争被害の伝承に尽力されてきました。

未来のために過去を学ぶ

戦争にYESという人はいないが、北に物騒な国があるから、戦争手段の軍備に即座

にNOと断言できる人はそう多くはないでしょう。ホドホドの軍事力が必要ではないかという方が大半だと思いません。しかし、戦争手段・武力にはホドホドという区切りはない、相手より有利な武力を持たないと安心できないから限りなく軍拡になるでしょう。核の抑止力も同じで、永遠にバランスが保たれることはありません。核弾頭が1発でも誤発、偶発をすれば宇宙船地球号は取り返しのつかぬ穴があきます。戦争をNOというなら、戦争手段、軍事力にも厳しい目を向けようと呼びかけられました。

氏は憲法で最も心に残っているのは前文の「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に在することを宣言する」だと語る。そうです、明治維新以後の数ある戦争は政府の行為で起こされたものであり、国民はその方策に付いて行かざるを得なかったのです。庶民が反対と叫べる環境にはなかった。それどころか税金の大半を軍事費に費やし、(昭和19年の国家予算

の85・5%)更に国家総動員法によって全てを国に捧げさせられました。いや、赤紙一枚で命まで政府に取り上げられた。挙句には100回もの空襲によって財産と生活の破壊どころか、10万人余が一夜にして命を奪われたのです。国を相手に「空襲被害の賠償を」と訴える市民運動もあるが未だに認められていません。

最後にと氏は群馬のある母親のメッセージを紹介して話をしめくくった。「あなたは戦争に行きたいですか。あなたの好きな人を戦争に行かせたいですか。今、日本は戦争に向かって動き出しています。前の戦争の時、私たちはそれを止められず多くの命が犠牲になりました。国と軍備の力を誇示するために戦争をした人はほんの少数なのです。大多数の人は戦争を望んでなんかないです。でも、それが政治に反映されていないのです。戦争をしたくないと言えないでいる人も皆で正直に言えるように、勇気を出して声を上げましょう。私、あなた、みんなで諦めずに反戦・平和を訴え続けましょう」。

※中小企業家同友会

1957年創立 現在4万7000社が加盟し、共に学び、良い経営者、良い会社を造ろうと切磋琢磨する会。広浜泰久会長 平均企業規模社員数30名 資本金1500万 本誌今号に寄稿された黒瀬直宏氏は本会と縁が深く数多く講演や寄稿をされている。

「労働条件

ファースト」の勧め

アジア中小企業協力機構理事長 黒瀬 直宏

長年、大学で日本の中小企業が抱える問題を研究されてきたその道のエキスパートが中小企業が勝ち残る策を提起されています。

今、中小企業にとって最大の問題は人材不足だ。生産年齢人口の減少がその最大の要因だが、もう一つ重要なのが1990年代以降激化した中小企業問題だ。具体的には大企業生産拠点の東アジアへの移転による国内中小企業市場の縮小、大企業の下請単価引き下げなどによる中小企業への圧迫などである。人材不足が中小企業に集中するのは、中小企業問題の悪化で賃金支払い能力の低下した中小企業と大企業の間で賃金格差が拡大したためだ。だが、中小企業の中には労働条件向上を目指し、効果を上げている企業もある。例えば次のような企業だ。



黒瀬直宏氏

社員「自治」の現場の働き方

A社(1970年創業、社員29人)は各種のプラスチック、ゴム材、スポンジ材など金属以外の素材をプレス加工し、パソコン内部用部品、車のバックカメラ用の放熱シートなど種々の部品を製作している。プレス加工業もアジア企業との競争に巻き込まれ廃業が多発しているが、同社の2015年度の売上は3億3

000万円、18年度は4億8000万円3年間で45%増と好調だ。アジア企業との差別化を納期に求め、「Aに頼めば納期は大丈夫」との評判を確立したことが好業績の原因で、納期合わせのため現場に判断をゆだねる柔軟な管理体制がそれを支えている。同社は社員が顧客のために「商人の気持ちを持った職人」であることを共通理念に、現場はいわば社員の自治で動いている。このような社員の主体的な働き方はどうして生まれるのか。

業界平均給与の120%めざす

同社には2027年を目標とする「10年後ビジョン」があるが、そこで最も重視されているのが給与の引上げ目標で、業界平均の120%を指している。大卒初任給で言う24万円への引上げ(2016年度19万5000円)。同社社長の発想は「売上や生産性が上がったから給与を上げる」ではなく、「給与を上げるために売上や生産性を上げる」だ。

かつて日本の財界は給与を抑えるために生産性上昇の範囲内で給与をあげるという「生産性基準原理」をとってきたことがある。それに対し、これは労働条件引上げのために売上や生産性を上げるのだから「労働条件基準原理」、つまり「労働条件ファースト」と呼びたい。

労働者の主体性を引き出し企業の収益性高まる

給与は付加価値からの分配になるから目標給与を達成するには付加価値生産性が重要である。同社の「人・時生産性」(一人一時間当たり付加価値)は2015年度3470円、16年度3520円、17年度3824円、18年度4285円と着実に上昇し、これとともにベースアップも行った。2019年度の目標は4500円、労働分配率は55%としているので、これをかけた額が1時間当たり給与となる。毎月「人・時生産性」を社内公開しているから社員は自分の働きで「人・時生産性」が上がれば給与も経営業績も上がることが実感でき、

「人・時生産性」の目標達成に進んで努力する。このような仕組みが同社社員の主体的な行動の基盤になっている。給与引き上げ目標が達成されれば、次は労働時間の短縮だそう。

労働時間短縮と言えば、やはり人手不足が深刻化した1980年代後半のこと、次のような中小企業もあった。この企業は二にも二にも優秀な人材が欲しく、毎年15分の時短を経営目標として掲げ、その達成のために生産性上昇を図ることにした。もしだめだったら元に戻すという合意で始めたが、4年間これを続け、1時間の時短を達成、所定労働時間を1日6時間40分にするのに成功した。結果、理工系学生を毎年数名、10倍近い応募者の中から採用することができた。そのおかげで経営的にも発展し、現在では海外売上高比率が6割を超える中堅上場企業へと成長した。両社からわかるのは、「労働条件ファースト」は中小企業労働者のためだけでなく、労働者の主体性を引き出し、企業の収益性も高めることができることだ。

アジア中小企業協力機構 (ICOSA) : 黒瀬氏らが中心となって2017年に結成。中小企業が連携しアジア経済の主役を担うことをめざす会。講演会、企業訪問、海外視察、研究会などを行なっている。

<https://sites.google.com/view/icosas2017/icosas>

工事中止、再開後 突貫工事で完成

星野 輝夫（台東プラザ、新協建設工業）

台東区中小企業の振興を目指す台東区異業種交流プラザ91（台東プラザ、91年創立）は9月20、21日に「今だけの風景、ハツ場ダム湛水地内をめぐる」研修旅行を開催しました。



竣工間近なダム、手前側に貯水するので湖水の中に沈みます。左側の工事中のEVで湖底近くに行ける。ハツ場ダムは堤体高116m、堤頂長290.8m、堤体積100万m³、流域面積711.4km²、湛水面積3km²（満水時2キロ上流まで）、総貯水容量1億750万m³（全国1位ダムの6分の1）の巨大な重力式ダムです。

9月13日3時にハツ場ダム工事の中心にある国交省ハツ場ダム工事事務所集会場に到着すると、工事事務所の庶務課長、女性職員2名が歓迎挨拶し、会場へ案内してくれました。研修会場には「やんばツアーズ参加証明書」、ダムデータが記載された「ダムカード」が配布され、女性技術職員によるデータ画像を使った説明、講義が始まりました。

昭和22年のカサリーン台風で利根川流域の堤防が決壊、大被害を受けたため利根川上流にダムを築き、洪水調整、

都市用水、流量調整、発電の多目的ダムの計画が立てられました。昭和45年ハツ場ダム建設事業着手、800年の歴史をもつ川原湯温泉街など470戸の水没する住民を支持する全国的な大反対運動が起きました。

この間、反対運動を背景に国交省交渉が重ねられ、水没住民への集団移転、補償など群馬県からの「生活再建計画」が示され、平成4年「ハツ場ダム建設事業基本協定」が締結され、工事を着工しました。しかし、工事の途中、平成21年9月、ダム建設入札公告前に、前原国交大臣がダム建設中途での中止を表明。当時の民主党の「コンクリートから人へ、無駄な公共工事、ダムは建設しない」の政策による突然の工事中止でした。公約だからと淡々と他人事のように話す涼しげな前原氏の顔が今でも思い起こされます。

しかし集団移転をした地域住民はじめ、多くの国民の批判が高まり、県、市の工事再開要求が政府に突き付けられました。この要求を受けて、平成23

年12月、同じ民主党の前田国交大臣が工事の再開、「ハツ場ダム工事継続の方針転換」を表明しました。

前原前国交大臣は2年前、民主党の代表だった時、安倍政権を野党共闘で打倒する国民的運動のさなかに民主党を解党し希望の党への合流を図りました。ダムのコンクリートを眺めながら、ハツ場ダム中止、民主党の解党と国民の要求と期待を裏切った人物に改めて腹立ちを覚えたのは私だけだったでしょうか。壮大で無駄な2年間の工事中止期間後、平成26年8月ハツ場ダム本体建設工事を清水、鉄建、IHI共同企業体と契約しました。工事の遅れを取り戻すため現場は建設労働者に厳しい労働を強いる三交代の突貫工事で進められ、令和元年6月コンクリート躯体工事を完了しました。

ダム建設の工事概要の説明後、全員ヘルメットを着用して、庶務課長など3人の工事事務所員の案内、説明で工事現場を見学しました。最初に水没する側の「自由見学広場」。116mの高さ、長さ

290mの巨大なコンクリートの壁、100万m³のコンクリートをどう打設したか説明を受けました。平成28年から始めたコンクリート打設作業は24時間、三交代で進められました。全国から集められた500人の作業員が宿舍で生活し、作業は36ヵ月続き今年6月完了しました。工事を進めた清水、鉄建、IHIJVは「死傷ゼロの安全方針」を掲げ、安全衛生管理体制の徹底により死亡ゼロ、傷害ゼロの成果を挙げています。

ハツ場ダムは10月1日から、試験湛水を開始、ダム堤体や貯水池周辺の安全性を確認して2020年4月から運用を開始することになっています。ハツ場ダムを見学して、政治の判断ミス、指導者の適格性を欠く方針がいかん時間と税金の無駄、建設労働者の過重労働を生み出すかを深く感じました。5320億円（関連経費含め9000億円）の建設費が多目的ダムの洪水調整、景観保全、都市用水、発電などの効用で国民にカムバックできるのか国民の目が注がれています。

（2019年9月25日）

映画「新聞記者」を見て

真実は報道されているか

東京・荒川区 坂本 繁夫

(平和憲法を守る荒川の会・会員)

(全国でロングラン上映中。ネットで検索を)

映画「新聞記者」は、官邸に不都合な質問を続ける東京新聞・望月衣塑子記者の著書「新聞記者」に着目し企画制作された映画です。

ストーリーは「加計学園の獣医学部新設」「森友学園への国有地売却」事件、伊藤詩織さんへの準恐喝疑惑を背景にした政治サスペンス映画で

す。

映画の終盤、内閣情報調査室(内調)の参事官が、「国(政権)を守るため、民主主義は形だけあればよい」というような言葉を発していました。私は普段、この国の現政権の行動から「このような思想が根底にあるのでは」と思っていましたので、心の中



「新聞記者」ポスター

で「ガツテン！」を叫びました。この映画を見て私が第一に評価したいことは、政権の維持・政策推進のためマ

スコミを工作・支配し、真実を隠し、デマ情報拡散で(国民)世論を動かす「内調」を、リアルに分かりやすく映像で表現したことです。



第二は、「ことながれ主義」のたいへん強い日本で、政治をテーマにした作品(この数年日本で起きた政治事件を扱った)を制作したエグゼクティブ・プロデューサー、河村光康氏の勇気と「民主主義を守りたい」という強い思いにです。第三に監督・脚本担当の藤井道人(32歳)さんは最初断ったが、河村氏から「政治から逃げるということは民主

主義を放棄している」と言われ、納得して監督を引き受けたとのこと。この態度の良さに感服しました。また、映像のシャープな美しさ、ストーリーの緊迫ある展開表現の巧みにに拍手を送りたいと思います。

第四に出演者の演技と心意気に拍手をしたい。新聞記者、吉岡エリカ役の「シム・ウンギョン」は、真実を突き詰める新聞記者の鋭い眼差しが良い。内閣情報調査官・杉原拓海役の松坂桃李は、政権維持のために国民をコントロールする仕事に疑問を持ち始め、尊敬する元職場先輩の自殺の原因となった陰謀を暴くことに、危険・恫喝・懐柔をうけながらも傾注していく。その若手官僚の心の葛藤を見事に演じていた。他ベテラン、若手俳優もこの映画に出演するにあたり、相当なプレッシャーがあったのではと想像します。現状の眼に見えない日本社会の「同調圧力」を感じながらも出演し、日本映画の突破口となる仕事としたという情熱が感じられました。

私は「平和憲法を守る荒川の会」という市民団体の会員です。「日本国憲法を守り活かそう」と活動しています。映画「新聞記者」でもテーマとなっている「国民の知る権利」は日本国憲法21条で保障されています。報道機関の報道が、国民の知る権利に奉仕するという重要な意義を有しており、そのため、報道の自由は、憲法21条の表現の自由に含まれ、憲法で保障されています。安倍政権になってから、ご存じのように日本の報道の自由度が毎年下がり続けています(鳩山政権時は11位、現在67位)。政権が報道でも憲法をないがしろにし、官庁の人事権も官邸がにぎり、メディアを懐柔・恫喝で萎縮させ、政治を都合のよいようにコントロールしている(もちろん真実を伝えようと奮闘しているメディア、記者もいます)。私たちは、政府の広報ではない、権力の監視とチェックをし、平和を創るメディアを民衆の声で、憲法を絵にかいた餅ではなく、活かした憲法にしなければなりません。

災害に遭った日

もう何年前になるが上野に空海の曼荼羅が展示された。私は曼荼羅にとっても興味があり出かけたと思うたけれどテレビを見ると、並ぶ列が幾重にも曲がるほどの長さで何時間も待つようだった。

ある日大雨警報が出た。

私はこの日なら、と安易に考えて上野に行った。案の定1分も待たず、入れた。大雨が来るから急いで帰らなければと思いつつ、美術館の中に入ると作品に見入ってしまった。よくよく見てしまつて帰る



人災、天災からお守りください(中田恭子さんの画)

うとするとは外は大雨。その頃は電車には入場制限がかけていた。その改札に行くまでもぎゅうぎゅうに押し合つて身動きが取れなかった。私は驚いて改札から引き返して外に出た。

その時初めて自然に対する自分の考えの甘さを知った。どうしていいのかわからず予備知識もなく、心の準備もできていなかった。主人にまず電話をした。すると主人はバスに乗って自分の職場まで来い、そうしたら自分が車で何とか家まで連れて帰ると言つてく

れた。

そうだ渋谷まで行こう。そしてバス停に行くところまた長い長い列。だけど他に手段はない。傘をさしてバスの列の後ろに並んだ。タクシード待つ列も長かったがタクシーなんか1台も来ない。何分も待つてやつと1台というような風だ。タクシーも大雨で出控えられているのか、あるいはたくさんの人が手を挙げて足りなくなっているのか全く望みのない状態だった。

バスを待っている間傘をさしたが、傘なんて何の役にも立たない。雨風は縦から横から吹き荒れて体中あつという間にびしょ濡れになった。それどころか傘を吹き飛ばされそうになって体が揺れる。これは危ないと思つて、ついに傘を畳んでしまった。それでも差している人は傘が折れたり、体ごと持っていかれそうになったりして危なかった。どのぐらい待っただろう。やつとぎゅうぎゅうのバスが来た。乗れないかもしれないと思つたが、何とか詰めてくれて乗れた。幸い私は乗ることができたが身動きがで

とはこのことだった。後から乗ってきた若いお嬢さんのバッグを持たせてもらった。

もう入らないと思つていたのに運転手さんは「詰めてください、詰めてください、みんな濡れて風邪を引きますから詰めて1人でも多くの人を乗せてあげましょう」とマイクで言つていた。運転手さんはなんて素晴らしいんだろ、と私は思った。私は元氣なでもつと大変な人が乗ってきたらすぐに席を変わろうと思つてはいたが本当に1ミリも動けなかった。

そしてやつと渋谷の主人の職場にいつもの5倍の時間をかけて着いた。主人や家族からは何度も心配して電話がかかった。私の災害に対する考えの浅さ、浅はかな考えのためにこんな心配をかけて申し訳ないと思つた。

ちなみに会社で仕事をしていた娘は会社の人たちと一緒に近くのカラオケ屋さんに行きカラオケ屋さんで雨宿りをし、雨風がおさまつて電車も動き始めた頃、ゆつくりと帰ってきた。娘のように仲間があつて雨宿りをすると

があつたら幸い。あまり外に出ない私はどこにカラオケ屋さんがあるのか、雨宿りをそこですると言う考えも浮かばなかった。若い人の日頃の余裕の時間もうまく活用ができたと言ふことだろう。幸いにも怪我もなかったが、ほんのちよつとの気の緩み、簡単な考え、それが自分の身に及ぶことの恐ろしさを私は深く反省した。

何かがあつたらなんとかなるだろうという私の考えは一変した。何かあつたらどこに行けばいいのか、そこがダメならどうすればいいのか、また家族にどうやって連絡を取ればいいのか、とても深く考える時間をもらった。そのことにとっても感謝をして、改めて自然の恐ろしさ、災害の悲惨さを考えた。

2年前の水害で建て直し中の熊本の神社が菊池にある。ご縁がつながり、私の絵が令和元年中に天井に入る。そのため与えられた経験だったのかもしれない。天のご計画は計り知れない。祈りを深くし、ご奉納してこようと思つている。

横浜 中田恭子(画柳会代表)

小林正樹

一人間の「醜悪」と「尊厳」を 映し撮った男一

鎌倉市在住 市川 隼



小林正樹監督 (HPより)

小林正樹は、1916年2月14日に小樽で生まれ、1996年10月4日、東京の自宅で心筋梗塞により80歳で亡くなった。四騎の会の仲間で、1998年に亡くなった黒澤明や木下恵介よりも、更に、一歳上の92歳で亡くなった市

川崑よりも、小林の他界は早い旅立だった。小林は、15歳の時にテニス全道選手権に優勝するスポーツ少年だったが、小樽中学卒業後17歳の年に上京し、兄や従姉妹であった田中絹代の影響を受けて映画に熱中し、早稲田大学哲学科に入学し、芸術学を専攻した。大学時代、會津八一教授の薫陶を受け、大和奈良文化に傾倒し、卒論では、『室生寺建立年代の研究』を纏め、1941年に松竹に入社し、監督を目指した。小林と同世代の人々は、否応なしに、戦争に巻き込まれた。小林は1942年1月に召集され、1945年8月、宮古島で米軍捕虜となり、復員出来たのは30歳の1946年の11月で、12月に松竹大船撮影所に復職した。足掛け5年の軍隊生活の中で、生き続けて帰還しようとする軍事訓練も率先し、最優秀初年兵にも選ばれたが、満州での幹部候補生の面接試験

では、映画を愚弄する質問に対し、「命を懸けて映画の助監督を務めている」と答え、命を捧げるのは国家・天皇陛下に対してだけだと一喝され、不合格となった。

小林の作品には、戦争体験が色濃く反映されている。作家の司馬遼太郎は、小林より7歳若い学徒出陣組で、20歳で無理矢理「強制」卒業させられて軍隊生活を送ったが、こんな馬鹿な日本があったか、もつとましな日本があった



映画監督 小林正樹 DVD 小笠原清・梶山弘子編

たのではないかとの思いが、歴史を小説に書く契機となったと語り、その小説が、敗戦を迎えた時の22歳の自分への手紙だったとも記している。小林も、自分が培って来た価値と相反する理不尽な軍隊生活を経験させられたが、その体験に基づいて、戦争が、或は、戦争という極限状況が、人間に潜んでいる醜悪さを露にさせる姿や、その様な情況下ですら、必死に守り続ける事が可能な人間の尊厳さを、『壁あつき部屋』、『人間の条件』6部、『東京裁判』の中に描いた。『東京裁判』は、米国防省(ペンタゴン)に保管されていた3万巻(170時間相当)のフィルムから、法廷や、巣鴨・大森拘留所の場面を中心に、4時間37分に纏め上げたドキュメンタリー映画であり、法廷での被告同士の言い争いや、判決時の印度パール判事を含む5名の判事の少数意見が記録され、その中の豪州ウエップ裁判長の、「最高責任者が不起訴である以上、被告達を、死刑を含む如何なる量刑に処するのは公平さを欠く」という意見が、フィルムに残されて

いた。小林の作品は、上記以外にも、『怪談』、『切腹』、『上意討ち―拝領妻始末―』がヴェネツィア映画祭やカンヌ映画祭で高く評価され、1971年には、25周年のカンヌ国際映画祭に招待され、世界で功績のあった10人の映画監督の一人に選ばれ、F・フェリーニやR・クレマン等と共に功労賞を受賞した。黒澤明監督や様々な監督の作品に出演し、見事な演技振りで高く評価されて来た仲代達矢は、小林の『黒い河』から殆どの主要作品に出演し、小林を支えたスタッフの一人だったが、「一番影響を与えられた映画監督は、小林監督だった」(『日本映画遺産』)と述べ、懐し、「真つ黒なだけの原石を、役者の宝石に磨き上げて呉れて感謝している」(『鬼と仏の迷彩(映画監督小林正樹)』)とも記している。米国のイェール大学やニューヨークの映像博物館では、「小林」週間や「小林」月間として、小林正樹監督作品が取り上げられ、作品の価値は、今日でも輝きを増しているようだ。

愛国心を捨てよ 日本を本当に愛するなら

東京 深川 三田 栄考

皆さんも中学で習いませんでしたか？ 日露戦争で連戦連勝なのにポーツマス条約では賠償金すら取れなかったので、日比谷公園で《小村外交弾劾大会》が開かれ焼討ち暴動にまで発展し講



旭日旗

和反対運動は全国展開し桂閣は倒れた。愛国心に富み過ぎた国民は、日本の国力はもう戦争遂行力はなくなつたことを理解できなかつた。今の日韓交渉は同じ轍を踏んでいく。メディアは「韓国が悪い」一色だ。冷静な評論家、元外

交官まで「文大統領は頭を冷やせ」とくる。文大統領の支持率が下がれば「だから文は間違っている」と叫び、上がれば「反日を叫ぶから上がった」とのたまわう。北朝鮮が韓国を批判したら喜び、ましてや側近のスキヤンダルには「そんな大統領」だからと鬼の首を取つたように騒ぐ。国を愛するが故に我が日本国は正しく、間違つた韓国を懲らしめるのだと意気盛んだ。韓国を責めれば責めるほど反発となつて還ってくる。GSOMIAとか竹島防衛訓練とか日本品の非買運動にエスカレーターさせる材料は海や山ほどあるのは誰が考えても分かることだ。訪日客も激減し国益を大きく損なっている。まだまだほんの入口かも知れない。

戦後最悪の日韓関係

これは両国にとって何の利益もないと誰もが言い、誰もが認めているのに、愛国心のない愛国者が改善するのを妨害している。確かに韓国人の感情的な反日気分があるのは困つたことだ。反日教育も許容できない。我々日本人は知っている、韓国人は泣き怒る喜怒哀楽が激しいことを。大統領が辞めるとしつばし糾弾されて犯罪を暴かれて投獄されることを。ロウソク革命など政治への大衆参加が強いことを。

また、知っている。朝鮮半島を植民地化していたことを、豊臣秀吉が意味なく朝鮮出兵して多くの殺戮を犯し、かの国民で一番嫌われているのが秀吉であることを。これらを理解していたら日本側は余裕をもつて冷静に対処できるだろう。

韓国と友好関係を強化するのか、悪化させようとするのか、誰もが仲良くしたいとは思っているだろう。その観点から考えると8月15日の日本から開放された祭日に文大統領は『話し合いに応じる』と対話と呼びかけているのに日本側はこれを無視した。更に

大阪でのG20では各国と首脳会談を行ったにも関わらず、隣国韓国とはホスト国の安倍首相は立ち話すらしなかった。

日本では直ぐに退場せざるを得なかった大統領の姿が繰り返し放映されたが、韓国人は「こちらの呼びかけに対して冷たくあしらわれた」と感じたのは当然だ。それにも関わらず「半導体部品輸出規制強化」と「ホワイト国から除外」で応じた。「韓国の輸入品の扱いが不透明」との言い訳をしたが、政治家や要の官僚は「相手がどう感じ、どう反応するか」を考えなければその資格はないと断言できる。いや、彼らは韓国の反応を見透して手を打ったはずだ。

政府の行為によって戦争の惨禍が起らないように

憲法に明記されているが、政府の行為によつて国民が迷惑を掛けられないようにしてもらいたい。文在寅大統領が元凶だと騒ぎ立てているが、韓国からみればそうではあるまい。安倍晋三首相が村山河野談話の精神を本音で受け入れてないのを韓国人が見抜



いているのが原点である。安倍首相が寝た子を起こしたのではなく、忘れようとしてきた韓国人の気持ちに火を付けたのが原因である。日本がハト派の政権なら旭日旗の軍艦旗に目くじらを立てなかつたらう。

日本側もレーダー照射などは韓国軍艦の一指揮者の行き過ぎた行為を反韓に利用して煽つたのだ。某元知事は「やられたらやりかえさないといいないでしょう！」と単純なことをおっしゃる。米中貿易摩擦を見ても、どの歴史を見ても交渉でなく、力の対決はエスカレートする。摩擦は鎮火させるのが国益を守る愛国者である。感情的に愛国心を煽る者は国を誤らせる国賊である。

人生100年、

人類60万年

岡安 慶子

私の好きな言葉に「人生100年：」が加わった。

最近人生100年とよく聞か、仮に100年生きてても人類の歴史60万年から見たら、ほんの一瞬である。そう思うとこの一瞬が限りなくとおしくなる。大切に生きなければ命を与えてくれた先祖に申し訳ない。

60万年という途方もない年月にどれだけの人が生まれ、死んでいったのだろうか。

好奇心の強い私は102歳まで生きたいと願っているが、どこまで納得した人生を送れるだろうか。分かっていることは必ず死を迎えることである。どんな形で死を迎えるだろう。興味がある。病氣や老衰で死ぬのは仕方ないが、事故や事件に巻き込まれて死ぬのはあまりにも無念である。殊に戦争に巻き込まれ

て死ぬのはご免である。

死後、生き返った人はいないという。死後の世界にも興味がある。夫には笑われるのだが、私は死後の世界があつてほしいと願っている。「人間死ねば全て無である」では寂しく、悔しすぎるのである。人を殺し、子どもの精神を殺して、すんなり死んでいった奴等を許せないのである。死後の世界では是非でも会いたいのである。また、両親にも会いたい。

「明日があるわ」も大好きな言葉である。私のバックボーンの「反戦平和」もこの言葉に支えられてきたのである。不器用な私だが、いつも明るい未来を見つめてきた。「人生100年：」はそんな私を長い歴史の中で物事を考えようねと、優しく私の背中を押している。

余録

余裕・ゆとりあるタウン誌に

先月編集子が旧友に数年ぶりで会うので自分たちはこんなのをやっているよとLIFE CROSSINGのバックナンバーを何部か彼に送ってみた。すると彼は「体調が悪いのと、CROSSINGを読んで、仲間と話の輪に入る自信がない。同時に私は体制維持派ですし、特に原発容認派です。あまり、主義主張にとらわれて行動するタイプではありません。後略」と書いて

編集後記

世に媚びず言いたいことをはっきり言おう——Crossingの信条です。30周年を迎える西川バンドのコンサート、初めて歌に込めた西川さんの思いに触れました。沢田研二の歌「窮状のとき」、いいですね。直截な「9条」でなく、感情にすっと入り込んできます。新潟の衆議院議員、菊田まさこさんの、正直

来た。ウーム。そうか。実は1月にこんなことがあった。編集子の知人の社長が社内報に毎号しっかりと文を掲載されているので、LIFE CROSSINGを持参して「幅広い層から色んな角度からの意見を載せたい」と原稿を頼んだ。後日丁寧に「全部読ませていただいたし、家内にも意見を聞いたが、自分との考えがかなり違う雰囲気だ。自分が書いてもなじまないだろう」とお断りの電話を受けたのもショックだった。確かに当該の関係者の多くは俗にいうリベラル、護憲、反戦平和であり原発であろう。

編集子はそれ故にそれに凝り固まらない、違った観点、立場の人も受け入れるタウン誌でなければいけないと、原稿依頼したが「もう既に凝り固まって」と見られたのは残念で反省点だ。オイ、誰か思想信条に固まらない考えの人で寄稿してくれそうな人を紹介してくれませんか。困ったことに人間たるもの一つの生き方に傾くとどうしてもそちらの情報に傾き、より強く激しくなってしまうものだ。互いに自戒しなければいけない。如何なる事象においても相手の立場も理解するのが大事である。

で知られざるユーモラスな一面と元気な文章に笑わせてもらいながら、逆境の中での、負けたたまるか、精神に頭が下がりました。初登場の黒瀬さんの「労働条件ファースト」こんな企業が増えていくことが日本の経済構造を変えますね。同じくフランス在住の久川さんのフランスの住の暮らしを貫く自由・平等の精神。具体的にその理念をリアルに生きる人々との関わりが活写され、目からウロ

コの思いです。また記者魂高く鋭い質問を政権に発する東京新聞の望月衣塑子の著書をもとに製作された映画「新聞記者」。坂本さんの気骨あふれる紹介です。100人いれば100通りの考え方があります。人はみな違うのですから。自らは安全圏にいて人を貶め品性を疑うような文章は論外ですが、心にひっかかることや、あなたの伝えたいことをCrossing編集部にお寄せください。

「アムールの秋映画祭」と提携し 日本映画を上映

一般社団法人ユーラシア国際映画祭 代表理事

東京日野市 増山 麗奈

たつぷりとした濁流の水面に夕日が黄金色に反射する。中国語では「黒竜河」といわれるアムール川の夕暮れは最高に美しかった。650メートル先の川の中央部分が中国との国境。川の向こう岸には黒河市の人々が暮らす姿が見える。私はロシアのアムール州州都のブラゴベシチェンスク市を訪れていた。

私が代表理事を務める一般社団法人ユーラシア国際映画祭が、同市で行われている州政府主催「第17回アムールの秋映画祭」(9月14日～22日)と業務提携を結び、8本の日本映画を紹介する事業「日本シネマデイズ」(9月14日～16日)を行うためである。同映画祭で日本映画が複数紹介されるのは史上初の快挙だ。

ロシアでは日本映画がほとんど上映されていない。人気日本人俳優の名に「栗原小巻」さんが筆頭に上がるくらいだ。「宮崎駿」などのアニメも人気だが、ほとんどの人は「日本映画は見たことない」。審査員の松尾貴史さんや、JUN AMANTOさん、二井康夫さんのお力をお借りし、「くらやみ祭りの小川さん」(浅野晋康監督)や、被災地での孤独死を描く「ひとりじゃない」(鐘江稔監督)、香川県離島での若者の成長と恋愛を描く「LEMON & LEMON」(楠木佳子監督)など最高の日本映画を持っていくことができた。

州都の4人に1人が参加する映画祭

アムールの秋映画祭の歴史はソチオリンピック直後の文化祭にさかのぼる。17年たち4万人の市民と400人の映画関係者が集まる国民的な映画祭に成長した。14の舞台芸術が上演され、12本の長編、25本の短編映画が審査対象。日本映画を含む12本が特別招待上映作品だ。成功したテレビプロデューサーが事件に巻き込まれる内容の「AD LIBITUM」(ポーリング・オデリンバーグ監督)が最優秀作品賞となった。



アムールの秋映画祭レッドカーペットにてウクライナのアカベラグループ「クリアボイス」の皆さんと

プロデューサー・映画監督のフルマン・ブラッドが審査委員長を務め、市民から選ばれた市民審査員も参加する。来年4月には、ブラゴベシチェンスク市と黒河市に初めて橋が架かる。川越しに露中の国境が繋がる。同市は中国一帯一路計画の重要拠点となる。すでにその兆候はみられた。大規模予算露中合同製作映画「陵水謡」(アンドレイ・ミスキン監督) / 江流(中国監督)のワールドプレミアがあった。アムールの秋映画祭の代表セルゲイ・ノヴォジロフ氏と唐景榮共同プロデューサー作品だ。ロシア語と中国語の二カ国語音声でのドラマ劇場作品。絵画の面でも、中国の実業家美術コレクター、刻明秀が中国本土にロシア画家の美術館を10館作っている。中国資本とロシア文化の繋がりの強固さに驚かされた。

日本側はハバロフスク日本国総領事館の後援をいただいていたものの、企業協賛が少なく、正直、心もとない。しかし日本側のボスとしてそんな顔を見せるわけにいかない。負けるもんか!の思いで街中に日本シネマデイズのチラシを配布した。結果日露協会や日本語学校市の文化センター長さんとの対話やPRのおかげで、日本映画上映は毎

日満席。私、増山麗奈は「映画祭注目人物」として公式対談の場も作っていただいた。地元テレビも日本映画のことを大きく取り上げてくれた。来年もアムールの秋での日本映画上映も決まった! さらなるロシアの国際映画祭での追加上映も決まった。10月14日からはコーカサス地方のナルチク国際映画祭で、私が監督した映画「はじまりの日」が招待上映される。ウラジオストク日本国総領事館やハバロフスク日本国総領事館でも、日本祭で今回の日本映画が紹介されることも決定。極東連邦芸術大学の名誉教授でホルン奏者として世界で活躍する今瀬康夫さんの協力を得て日本の殺陣アクシオンとロシアの姫とのファンタジー映画製作企画も立ち上がった。支えてくださる皆様に感謝します。

アムール川の竜が微笑んでくれたおかげかもしれない。スパシーバ(ありがとう) 黒龍! 来年は、ぜひ日本の企業様も一緒に、ロシアの国民的映画祭に文化の懸け橋になりに行きましょう!